

# 管劣化コアサンプラーを用いた管路診断

## ■コアサンプラーの特徴■

本装置はPC(プレストレストコンクリート)管の劣化診断を、試掘に頼らず管内から実施出来ることを目的に開発したものです。以下にこの装置の持つ特徴を掲げます。

1.  $\phi$  600mm人孔から装置の搬入が可能です。

2. 管壁に対して直角に装置を据え付けることが容易に行えます。

3. 2段階のコアリングと近接センサーを用いた非接触配筋探査により、配筋を切断せずに全管厚を測定できます。

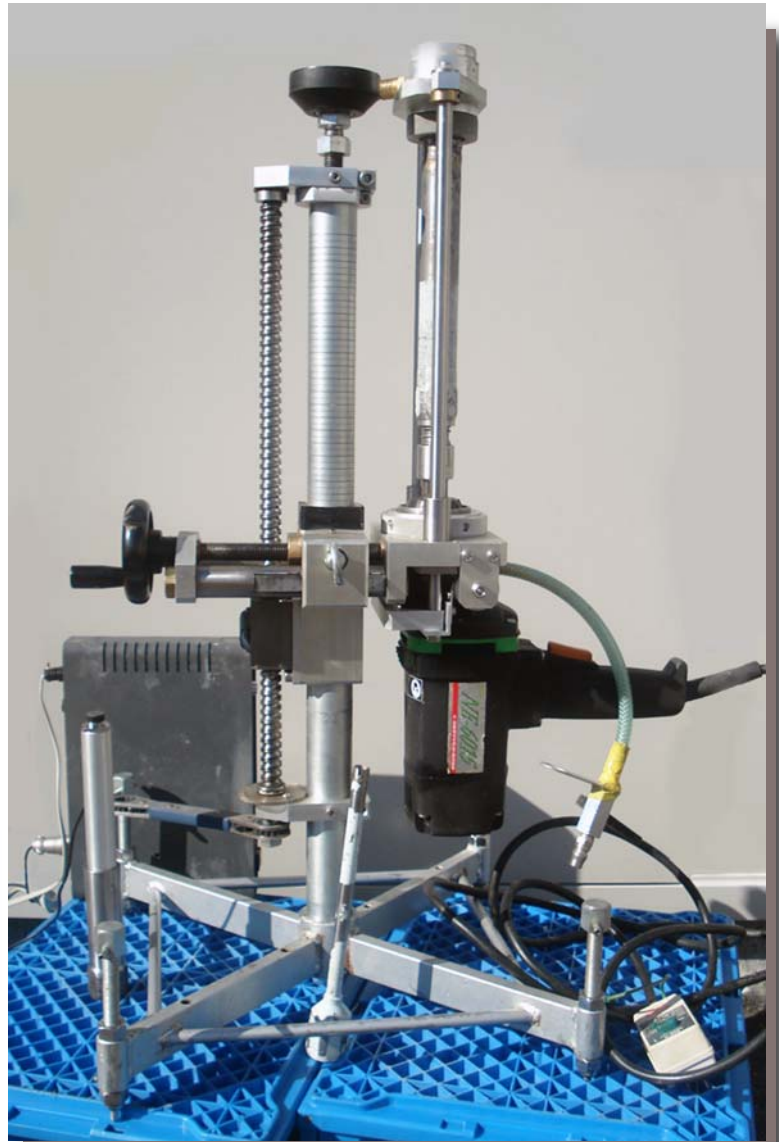
4. コアコンクリートの圧縮強度や摩耗は $\phi$  32mmビットの削孔から得られる $\phi$  28mmコアを利用して知ることができます。

5. カバーコートモルタルの劣化(中性化による脆化深さ)は、 $\phi$  12.5mmビットの削孔から得られる $\phi$  8.5mmコアを利用して知ることができます。

6. 削孔跡はゴム栓(中栓による拡張あり)と急結モルタル充填により短時間で機能が回復できます。

7. 浸入水や漏水等、少量の通水でも調査が可能です。

8. カバーコートモルタルの劣化進行からPC鋼線の腐食を予測することによって余寿命の推定や対策時期が判ります。



特許番号第4402686号

# 管劣化コアサンプラーは こんなことができます



サンプラー据付

PC管やヒューム管の管内から管壁のコアが折れずに採取できます



大径孔 削孔



大径孔 孔底さらい

配筋状況を非破壊で探査して鋼材を切断することなくコアを採取します



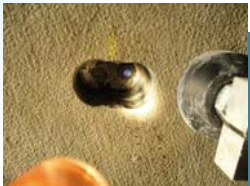
配筋探査



ゴム栓挿入



急結モルタル充填



中栓挿入



内圧試験

削孔跡はゴム栓と急結モルタルにより迅速に復旧します



ゴム栓突出状況



配筋探査精度検証

コアは小径 (8.5mm) から大径 (28mm) まで採取できます



小径 (φ8.5mm) コア



小径孔 削孔



大径 (φ28mm) コア



私たちは、全国各地における豊富な調査・計画・設計実績を踏え、納得のいくストックマネジメントを提案致します

連絡先：ストックマネジメントプロジェクトチーム

TEL:075-933-5118

E-mail:EPC-SMP@naigai-eng.co.jp



わたしたちに

お任せください

建設コンサルタント  
**内外エンジニアリング株式会社**

<http://www.naigai-eng.co.jp>



本社：〒601-8213 京都市南区久世中久世町1丁目141番地 ☎:075-933-5111  
 大阪支社：〒541-0043 大阪市中央区高麗橋 1-6-10 豊田日生北浜ビル8F ☎:06-6221-3081  
 東京支社：〒110-0015 東京都台東区東上野 1-28-12 新御徒町KMビル6F ☎:03-5818-5760  
 福岡支社：〒812-0016 福岡市博多区博多駅南 3-20-3 ☎:092-431-2851  
 支店：東北 中部 中国四国 南九州  
 営業所：埼玉 千葉 神奈川 北陸 長野 三重 滋賀 守山 南丹 京都北 京丹後 奈良 和歌山 神戸 姫路 但馬 岡山 山口 隠岐 徳島 愛媛 佐賀 長崎 宮崎

お客様担当窓口

20150317B-12